

VISION 25/30

決算説明資料

2021年3月期



Listed Company 4241

2021年5月
株式会社アテクト

VISION 25/30

2021年3月期(第52期) 業績総括

全社連結業績

(単位:百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	増減率
売上高	2,977	2,855	-4.1%
売上総利益	1,431	1,325	-7.4%
	48.1%	46.4%	
営業利益	157	162	3.1%
	5.3%	5.7%	
経常利益	126	189	49.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	38	75	95.7%

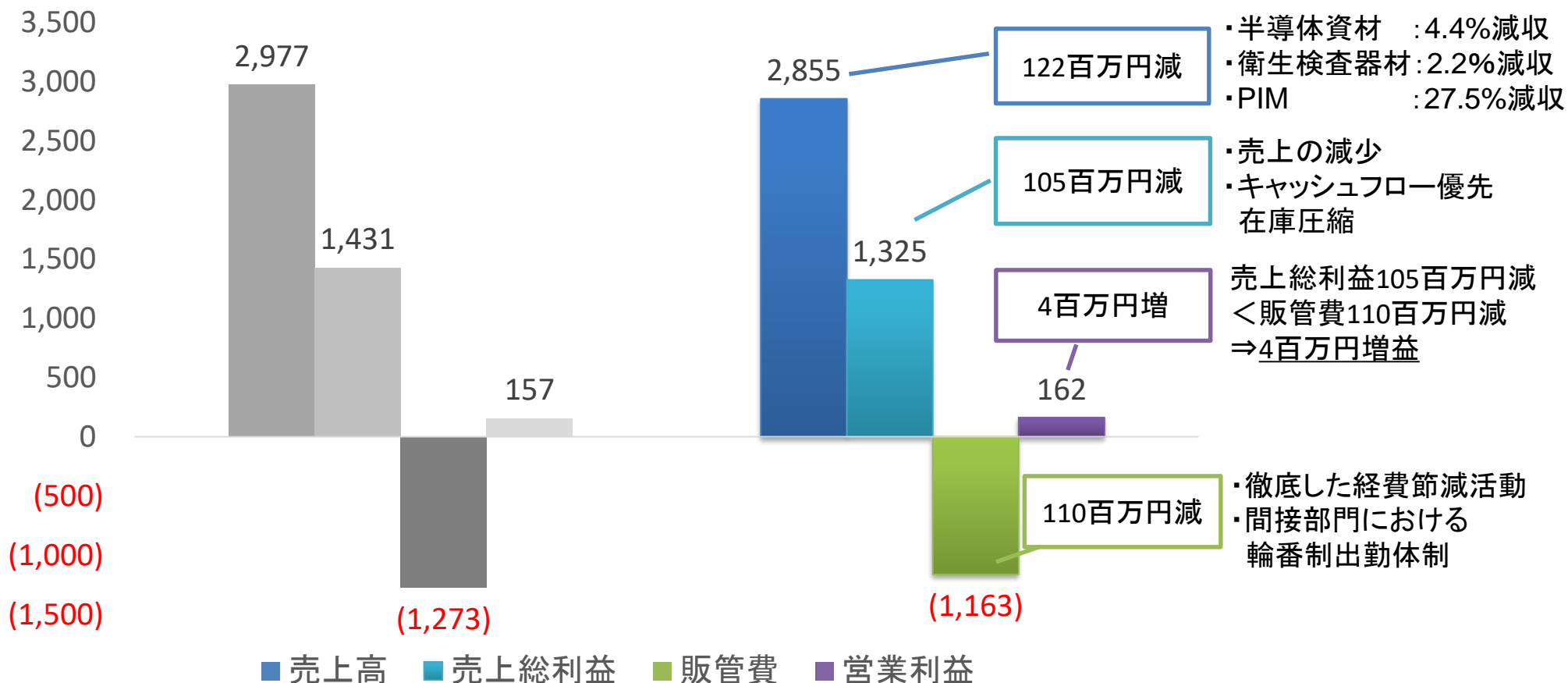
6期ぶりの減収(4.1%減)、営業利益は2期ぶりの増益(3.1%増)
為替の好転、助成金(滋賀工場移転)収入により経常利益以下は大きく増加

2021年3月期収益サマリー

(単位:百万円)

2020年3月期

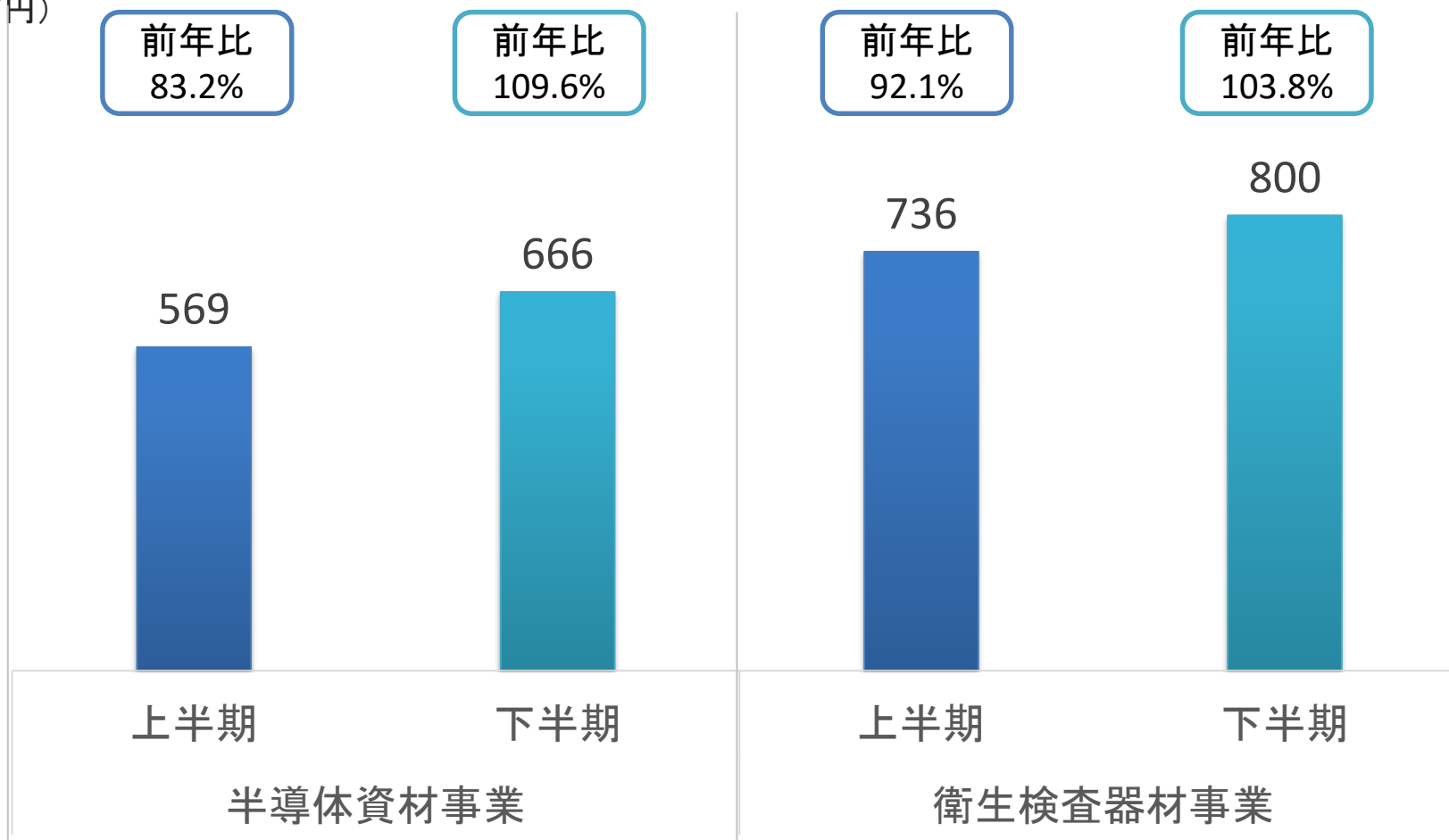
2021年3月期



売上高は4.1%減(122百万円減)、売上総利益は105百万円減
 一方、販管費の大幅な圧縮(110百万円減)により、営業利益は増益(4百万円増)

半導体資材・衛生検査器材事業 半期別売上高

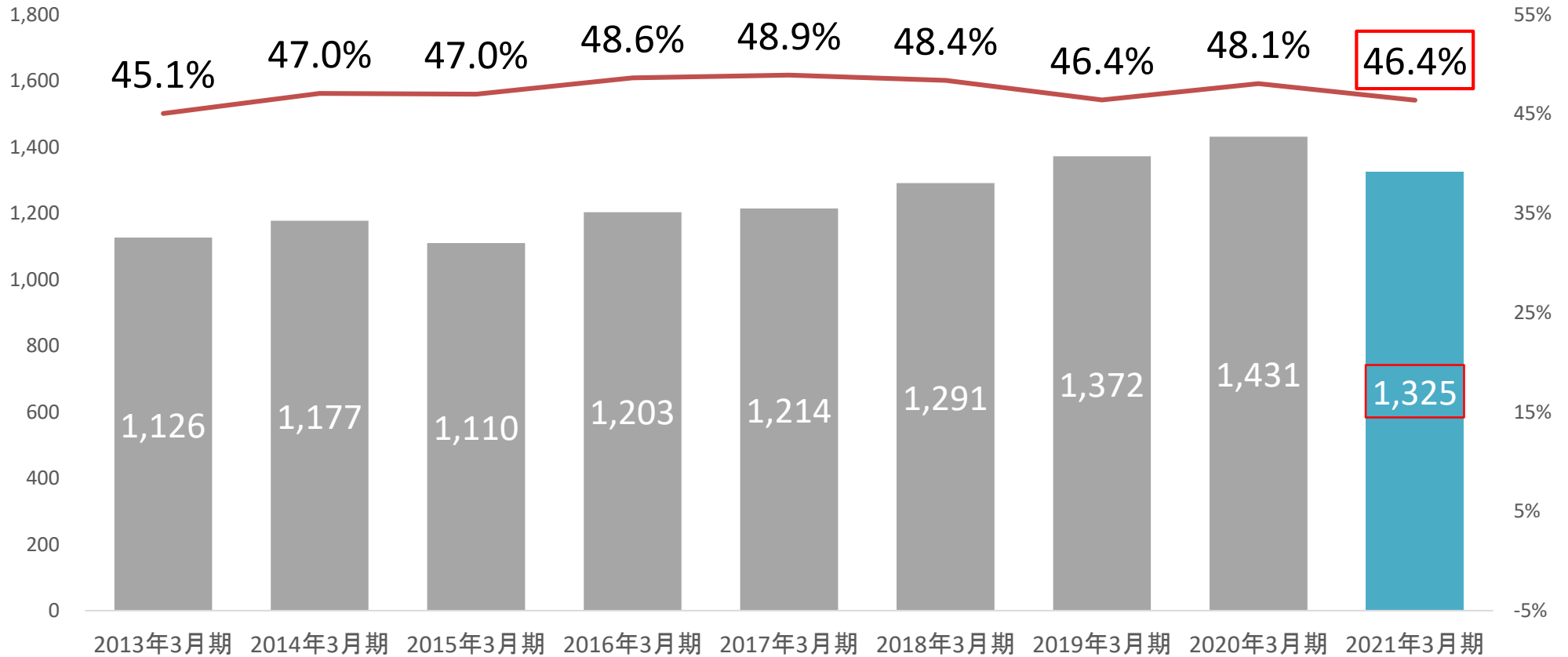
(単位:百万円)



2大コア事業(半導体資材・衛生検査器材)共に下半期の売上高は急回復し前期比でプラスとなった

売上総利益推移

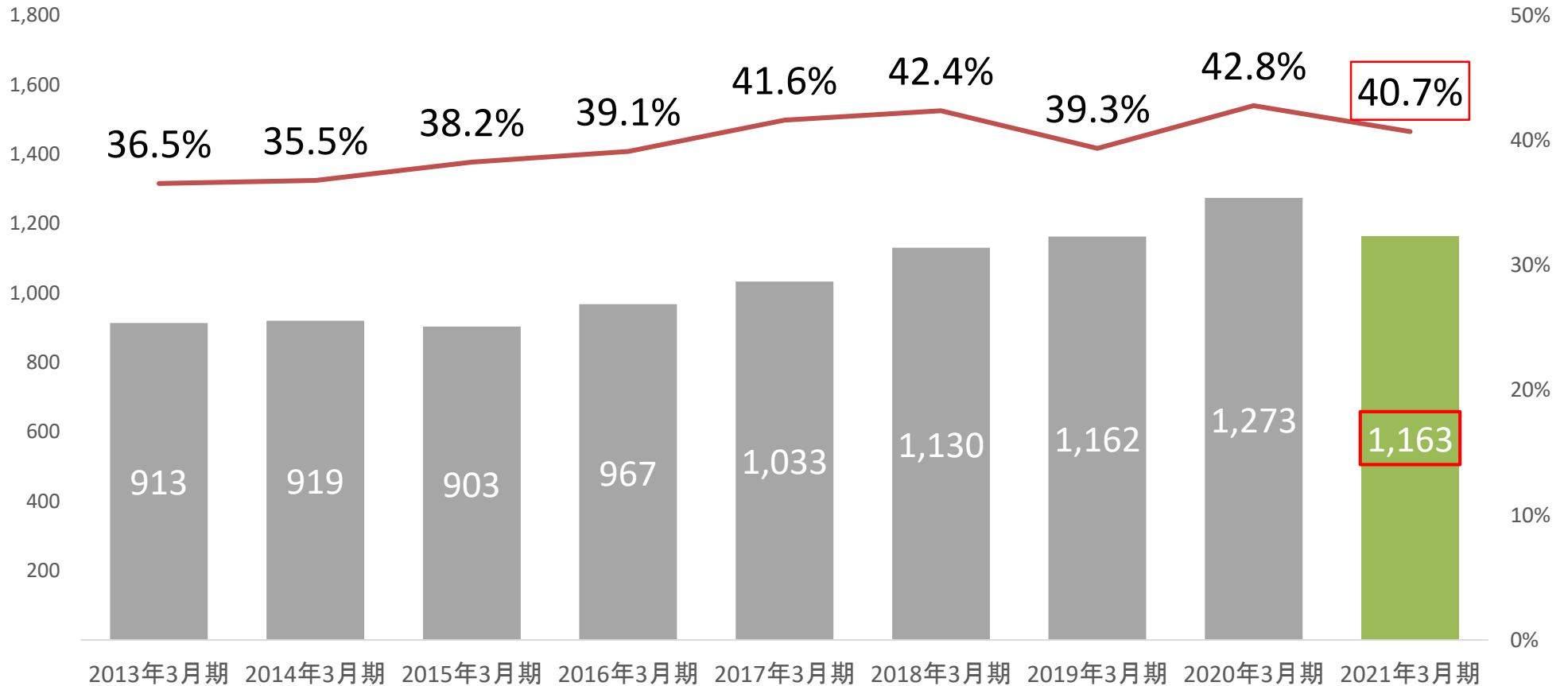
(単位:百万円)



上半期の売上減少及び在庫圧縮により売上総利益額・率共に前年割れとなった

販売管理費推移

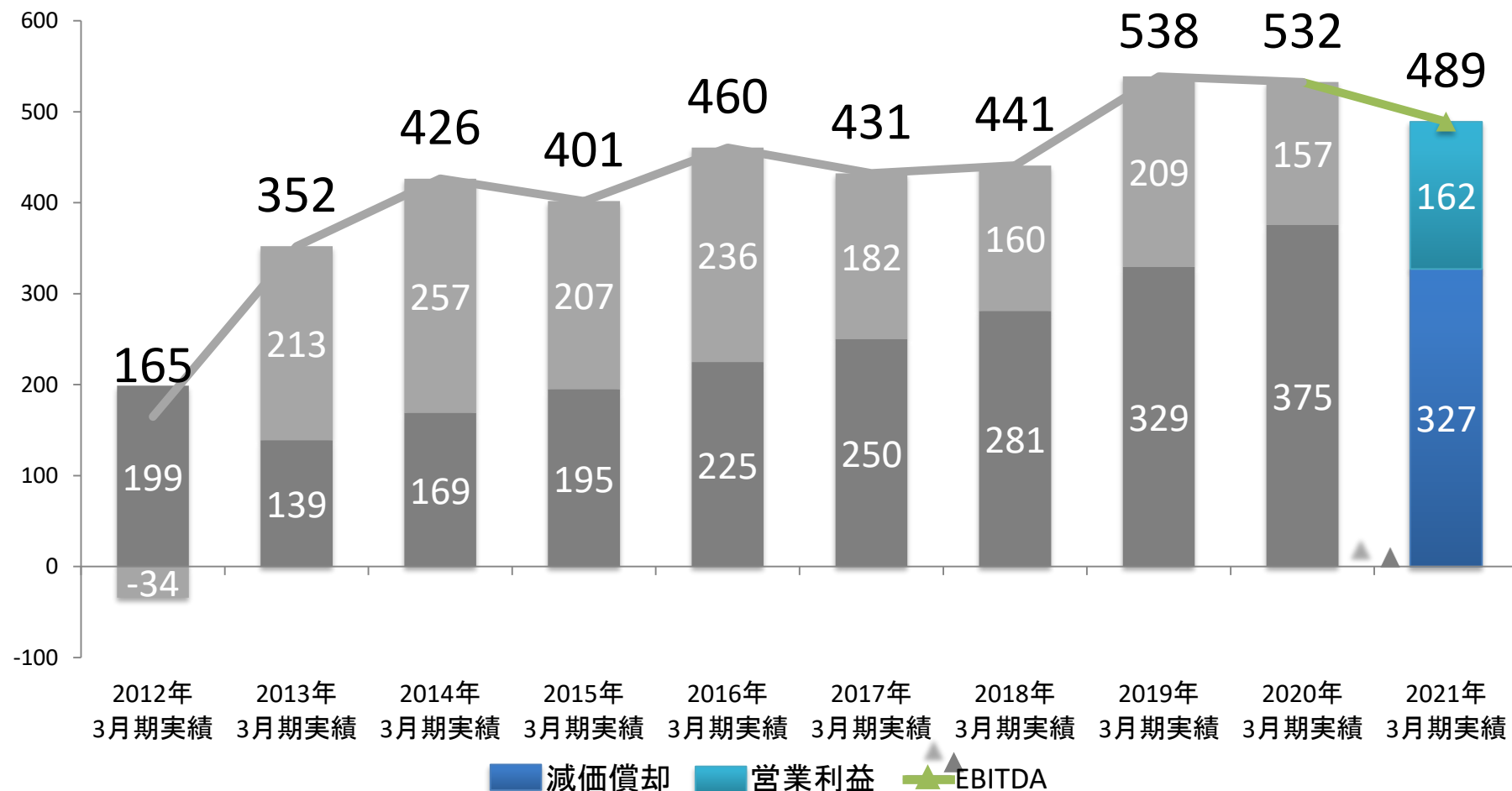
(単位:百万円)



徹底した経費低減活動により前期比8.7%減、110百万円の費用を圧縮

EBITDA: 企業収益力

(単位: 百万円)



営業利益は増収となったが減価償却費の減少によりEBITDAは後退

総括：セグメント別業績と概況

(単位：百万円)

	半導体資材事業			衛生検査器材事業			PIM事業		
	2020年3月期	2021年3月期	増減	2020年3月期	2021年3月期	増減	2020年3月期	2021年3月期	増減
売上高	1,292	1,235	-4.4%	1,570	1,536	-2.2%	115	83	-27.5%
売上総利益	589	527	-10.6%	772	747	-3.2%	68	50	-26.6%
	45.6%	42.7%		49.2%	48.6%		59.6%	60.4%	
営業利益	63	70	11.0%	49	63	27.2%	44	28	-35.2%
	4.9%	5.7%		3.2%	4.1%		38.4%	34.4%	
×	◆ 新型コロナウイルスの影響により 上半期16.8%減収			◆ 新型コロナウイルスの影響により 上半期7.9%減収			◆ 自動車メーカー最終試験に遅れ ◆ 半導体設備、工作機械用高機能部品の回復が鈍く、減収 ◆ 高機能部品の営業活動抑制		
○	◆ 「すごもり需要」で下半期急回復 ⇒ 下半期単独で9.6%増収 ◆ 円安/Won・NT\$高 (Won0.089⇒0.098 NT\$3.60⇒3.88) ◆ 8K・PCモニター用両山スペーサーテープ 開発受注開始			◆ 内食、デリバリー、テイクアウト需要の増加により下半期単独で創業以来過去最高の売上高 ◆ シャーレ梱包自動化ライン完成 ◆ 大阪営業所6月10日/福岡営業所3月19日開設 ◆ がん検査用シャーレ(HIROTSUバイオサイエンスN-NOSE)受注 ◆ 簡易微生物検査用培地「FM-Plate」開発			◆ 自動車ディーゼルターボ部品⇒IHIの最終試験に合格(2020年8月) ◆ ターボ部品量産用設備発注 ◆ セラミックス製CMOSセンサー部品量産開始		

2022年3月期（第53期） 業績見通しについて

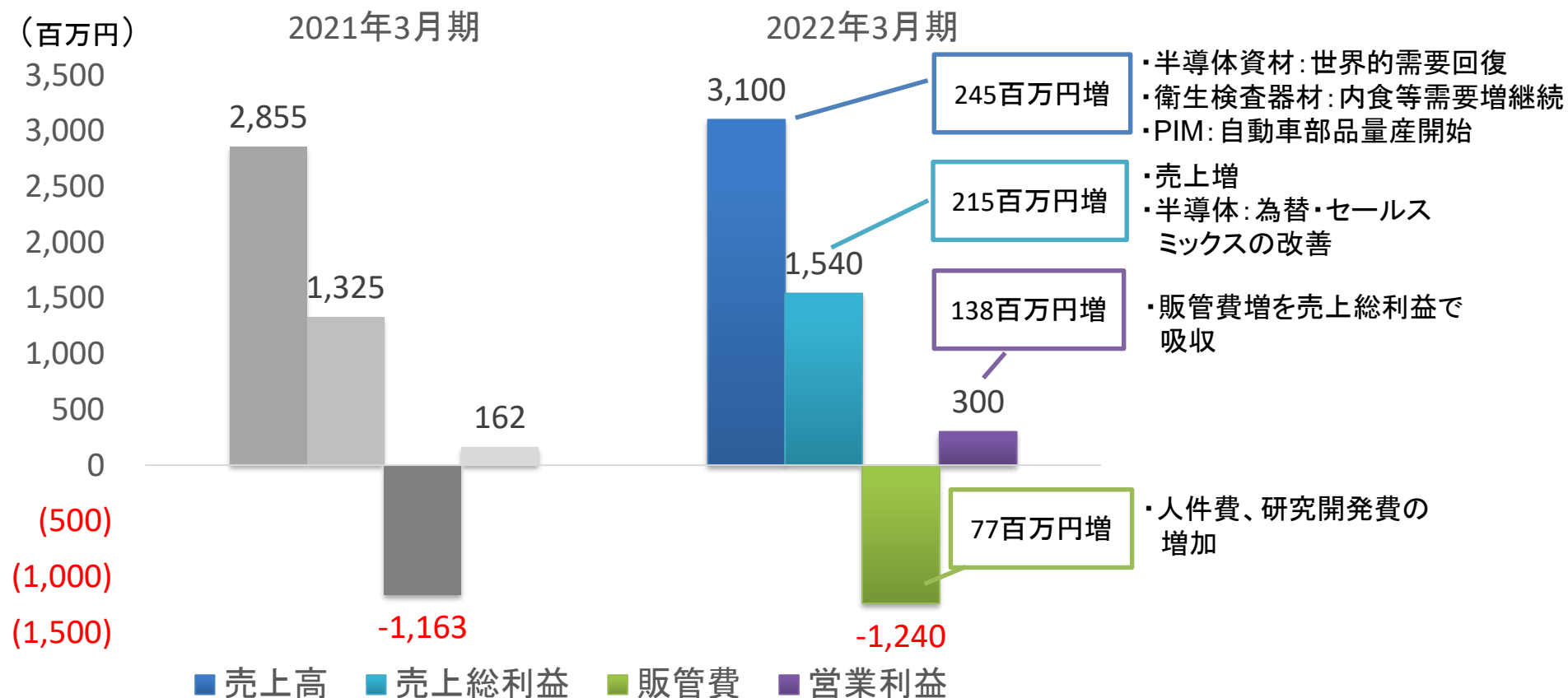
2022年3月期事業計画

(百万円)

	2021年3月期	2022年3月期	増減率
売上高	2,855	3,100	8.6%
営業利益	162	300	85.0%
	5.7%	9.7%	
経常利益	189	280	47.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	75	150	99.5%
配当予想	5円	10円	100.0%

売上高30億円超、営業利益3億円を目指す
8.6%増収・85.0%増益

2022年3月期収益見込サマリー

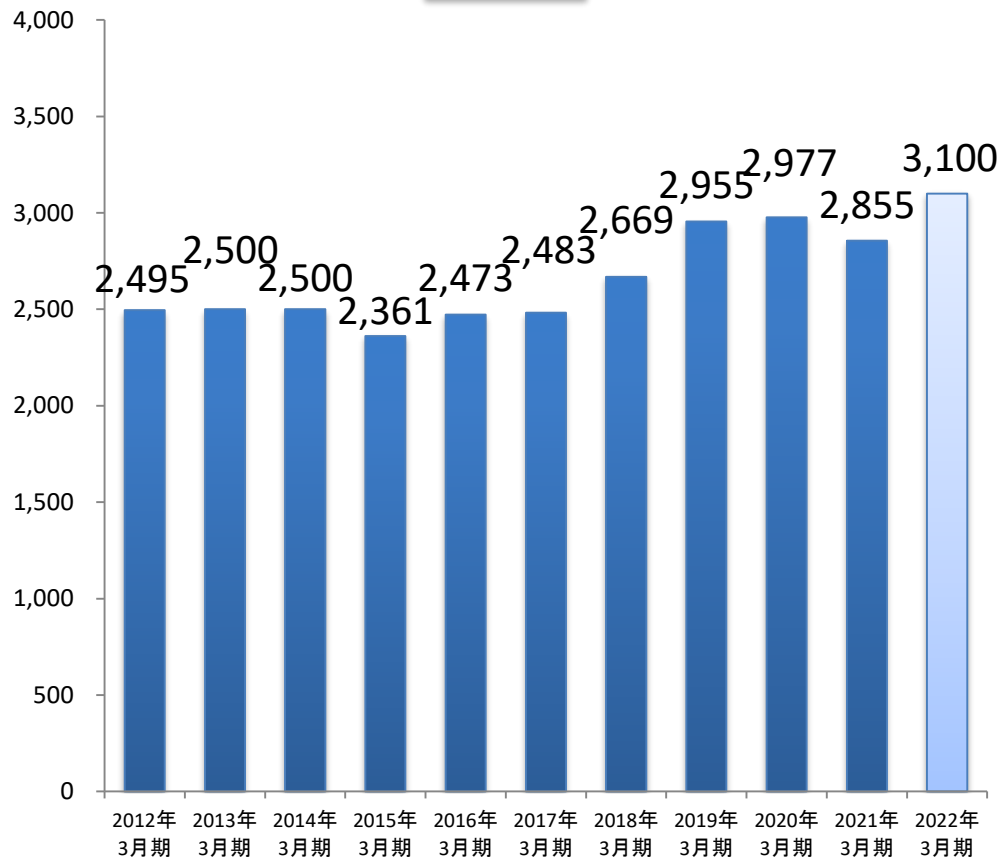


8.6%の増収、売上総利益過去最高更新
販管費の増加(77百万円)を吸収し、138百万円増益

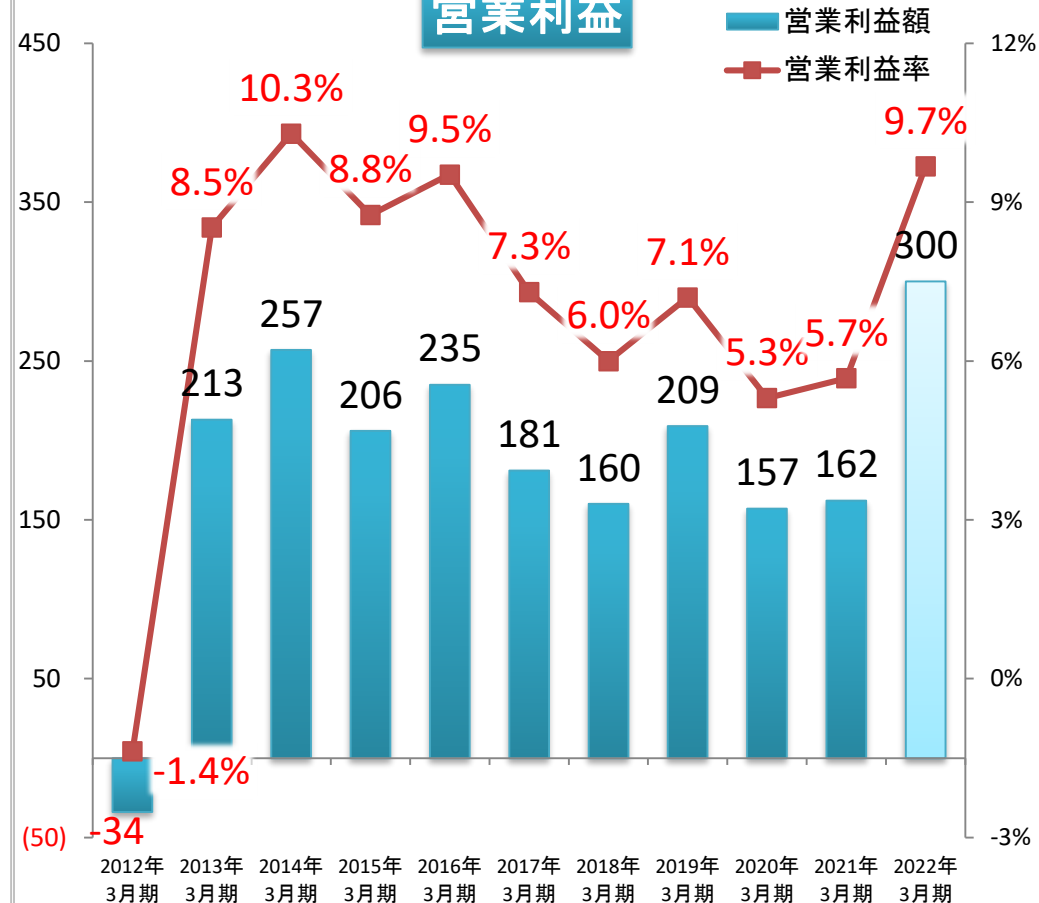
全社連結業績推移及び見込

(百万円)

売上高

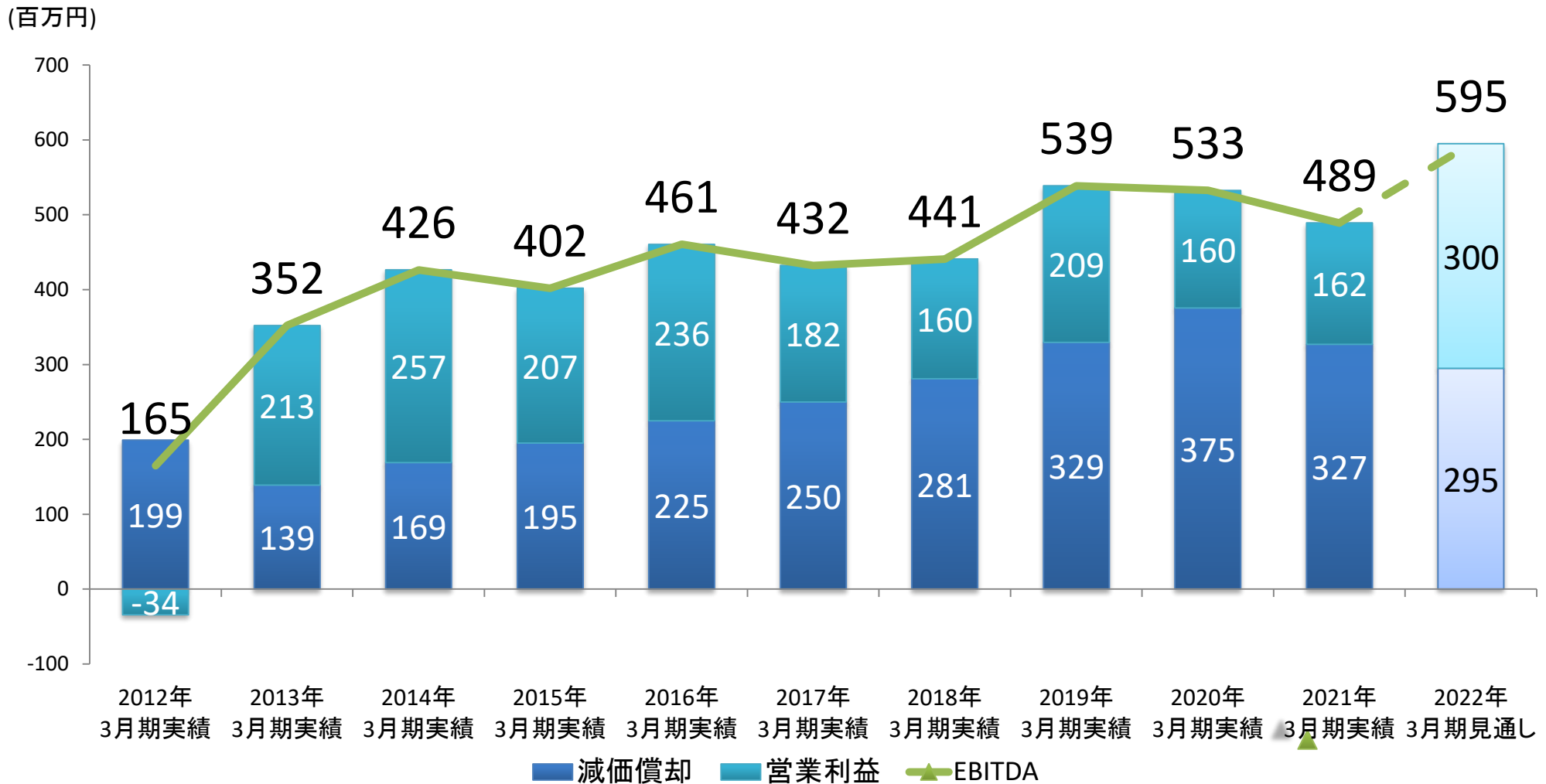


営業利益



2012年3月期の構造改革以降過去最高の売上・利益を目指す

EBITDA(企業収益力)推移及び見込



創業以来過去最高のEBITDAとなる見込

2022年3月期事業別アクションプラン

1.半導体資材事業

- ①巣籠り特需に対応する為、現有能力を日韓両拠点で1.2倍に引き上げ
- ②8Kテレビ、PCモニター用両山スペーサーテープの増産対応

2.衛生検査器材事業

- ①ウィズコロナ・アフターコロナに対応した営業活動・生産体制
- ②N-NOSE(がん検査)用シャーレの普及に対応した増産体制
- ③簡易型シート培地『FM-Plate』の立上げ及び販売開始

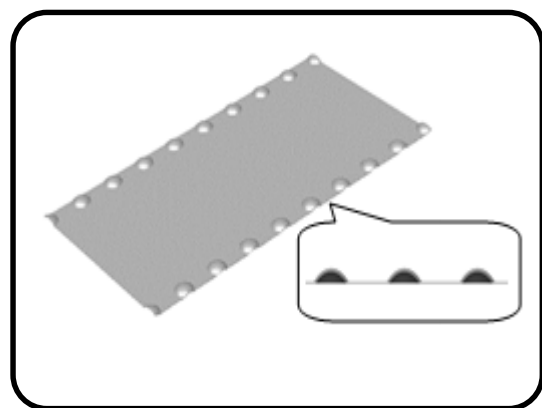
3.PIM事業

- ①IHI向けターボ部品2021年10月量産開始
 - ・『本金型・本設備』立ち上げ、安定量産技術の確立
 - ・PPAP(生産部品承認プロセス)の承認活動
- ②高機能部品の営業活動再開(※自動車部品量産開始以降)

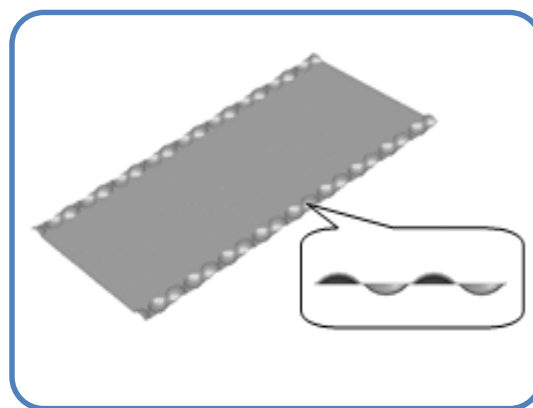
1-1. 半導体資材事業トピックス①

8K対応スペーサーテープの商品化及び本格量産開始

8K対応スペーサーテープとして4K用で採用した新コーティングを施したフィルムの両面にエンボスを形成する『8K対応両山スペーサーテープ』を開発し、本格量産を開始



従来品：片山スペーサーテープ



新製品：両山スペーサーテープ

スペーサーテープの使用数量
(対FHDテレビ比)

4Kテレビ	8Kテレビ
2.7倍	4.0倍

※当社調べ

8KテレビではFHDテレビと比べ一台あたりのスペーサーテープの消費量が4.0倍増加
既存ラインの生産能力を1.2倍に増強すると共に日韓双方で保有するラインの3割を
従来品と本製品の切換可能なラインに順次改造予定

1-2. 半導体資材事業売上高・売上数量推移

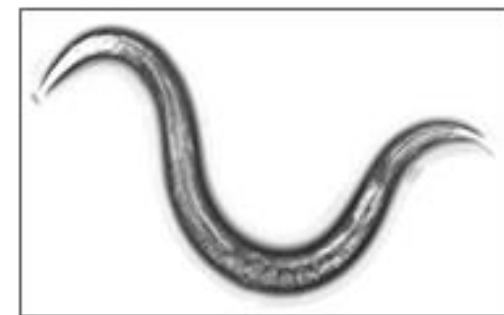
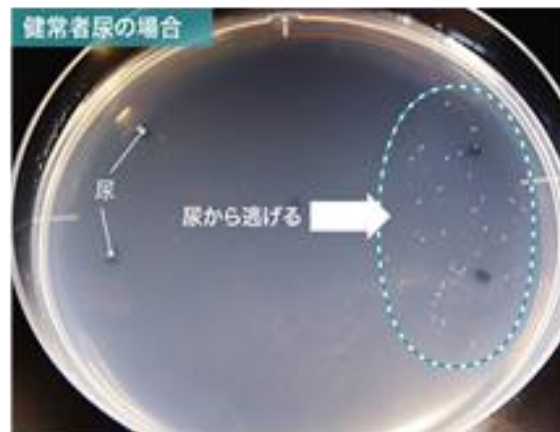
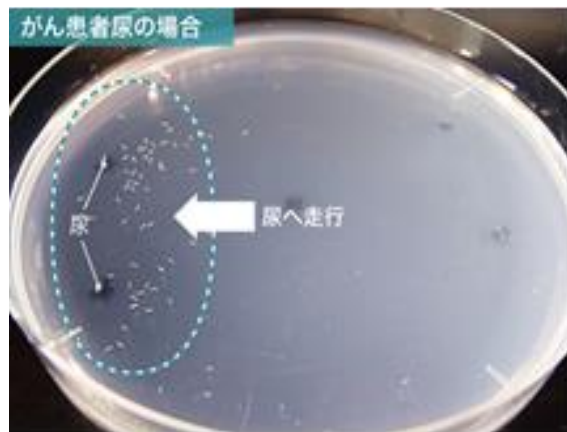


巣籠り特需と8K及びPCモニタ用新製品の投入により、年間販売数量10万Kmを目標とする(3期ぶりの2桁成長)

2-1. 衛生検査器材事業トピックス①

HIROTSUバイオサイエンス向けがん検査用シャーレの本格量産開始

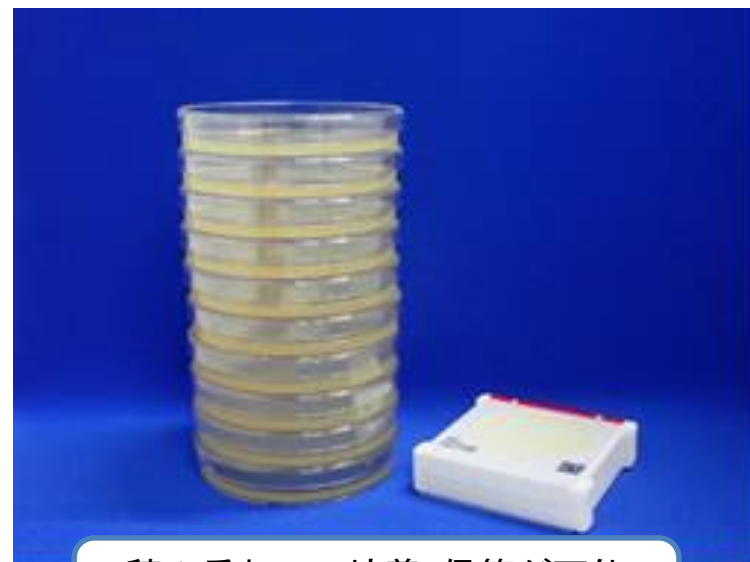
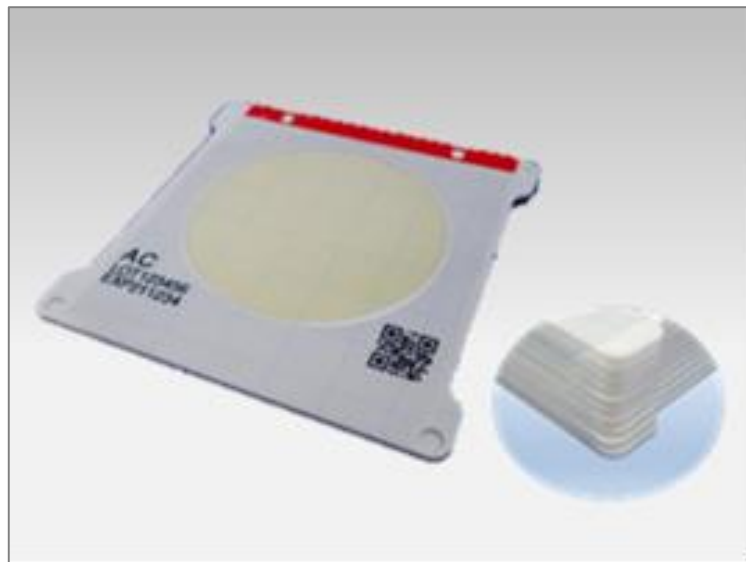
株式会社HIROTSUバイオサイエンスが世界に先駆けて開発した、『N-NOSE』用シャーレを昨秋から全面供給開始！



N-NOSEの普及は人類の直面するがんという課題解決における画期的な世界初の技術であり、当社シャーレが採用されたことはこれまでにない大きな使命であると捉え、「Quality・Cost・Delivery」全てにおいて満足頂ける生産体制の構築を目指す

2-2. 衛生検査器材事業トピックス②

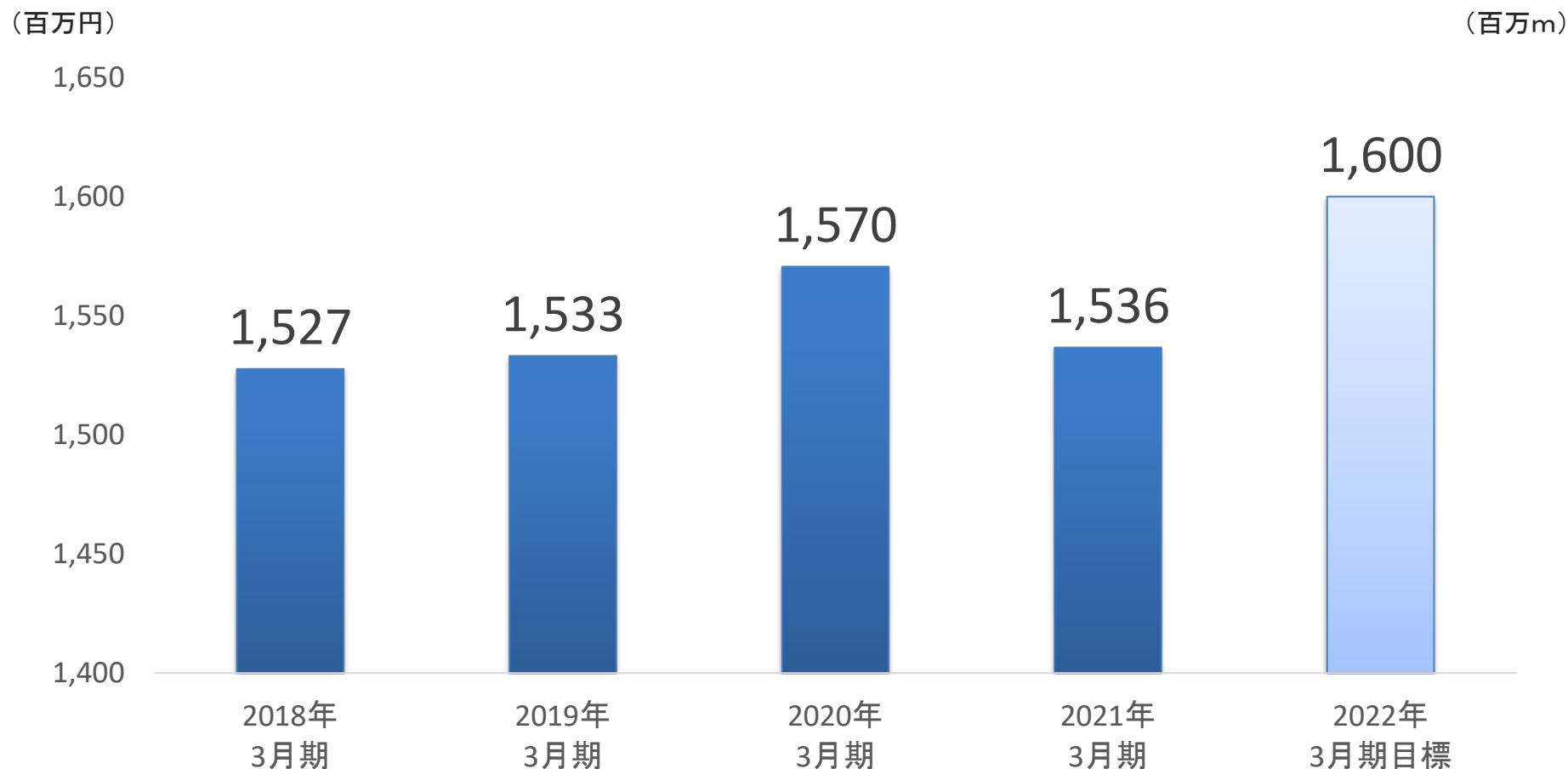
簡易型微生物検査用培地『FM-Plate』の開発、販売



積み重ねての培養・保管が可能
(シート状培地では初)

簡易型微生物検出用培地『FM-Plate』は従来の公定法による寒天培地とは異なり、微生物検査の知識がなくても誰でも簡単に公定法に近い検査結果を得ることが可能
※特許出願済、2022年10月AOAC認証取得予定

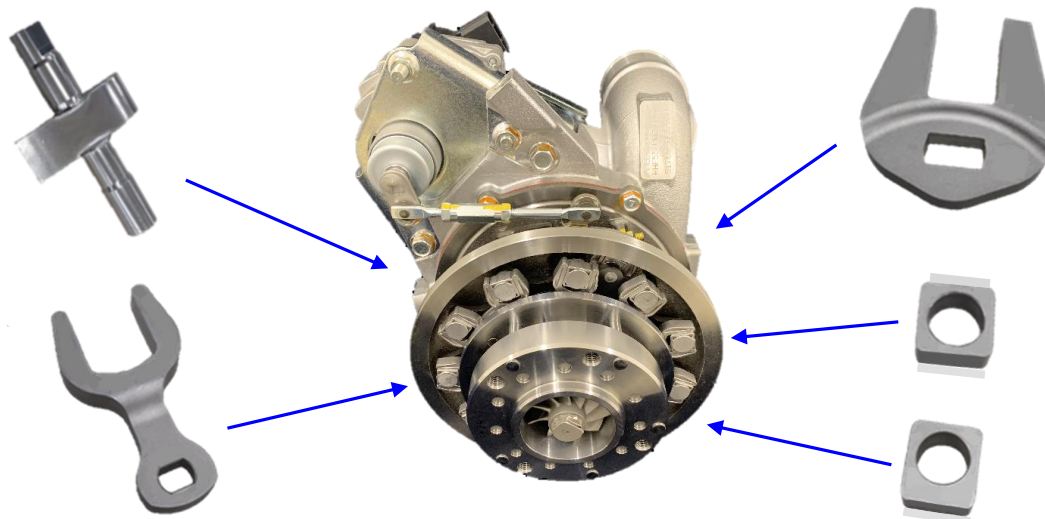
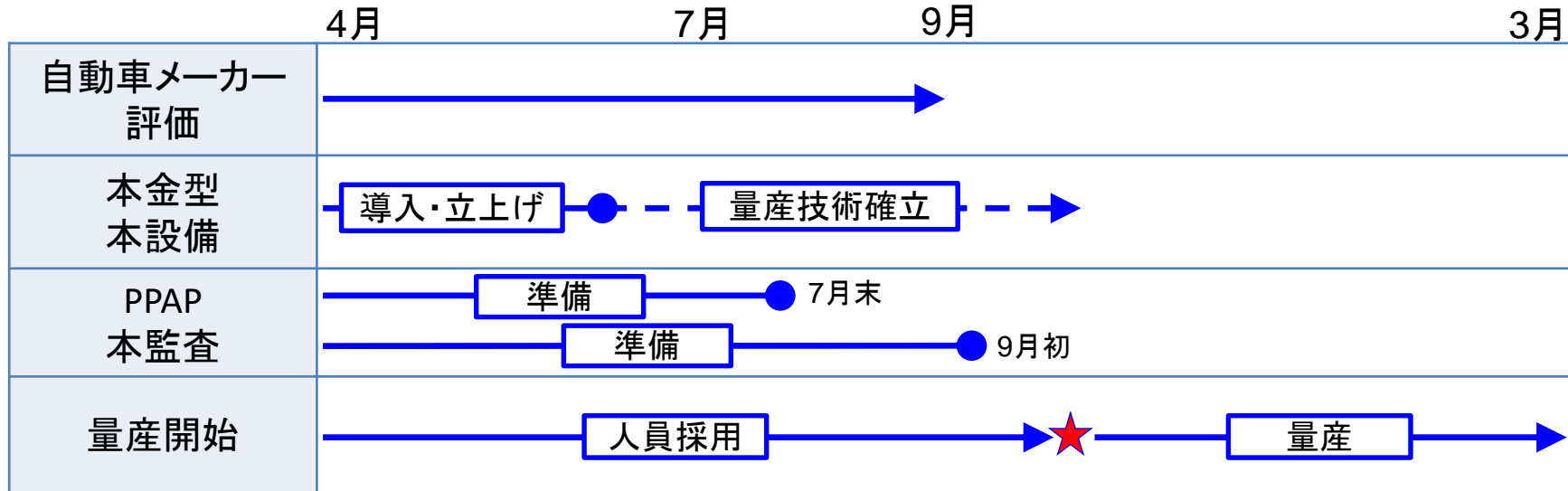
2-3. 衛生検査器材事業売上高推移



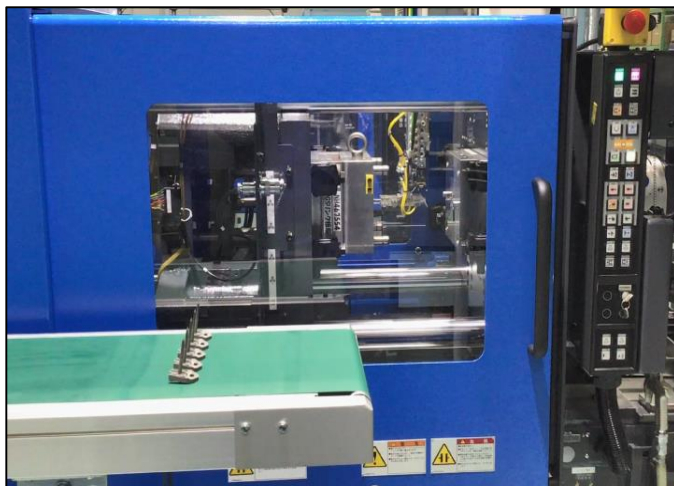
新型コロナウイルスによる食生活の変化に対応した営業活動と
がん検査用シャーレ(N-NOSE)の普及拡大により年商16億円を目指す

3-1. PIM事業トピックス

ターボ部品量産開始までの概略スケジュール



3-2. PIM事業トピックス



ターボ部品専用設備導入開始・立上げ中

免責事項

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、転送等をおこなわれぬようお願いいたします。

本資料に関するお問い合わせ

株式会社アテクト 事業管理部 IR担当

TEL:0748-20-3400

E-mail: ir@atect.co.jp